| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

# 製品安全データシート(SDS)

## 1 化学品及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 製品の名称 | : | トラスコ中山　メガクリア(くもり止め) |
| 製品の品番 | : | TGAF |
| 整理番号 | : | |
| 推奨用途、特長 | : | メガネ、作業用ゴーグルレンズのくもり止め用 |
| 会社名 | : | トラスコ中山株式会社 |
| 住所 | : | 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 |
| 担当部門 | : | 商品本部　PB品質保証課 |
| 発行連絡先 | : | お客様相談室宛 |
| 電話 | : | 0120-509-849 |
| FAX | : | 0120-509-839 |

## 2 危険有害性の要約　　化学物質としての情報

GHS分類

| | | | |
|---|---|---|---|
| 引火性液体 | : | 区分　3 | |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | : | 区分　2B | 【エタノール他】 |
| 生殖細胞変異原性 | : | 区分　1B | 【エタノール】 |
| 生殖毒性 | : | 区分　1A | 【エタノール】 |
| 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) | : | 区分　3 | 【エタノール】 |
| 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) | : | 区分　1(肝臓) | 【エタノール】 |

記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

シンボル

絵表示

注意喚起語　　危険

危険有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| H | 226 | : 引火性液体及び蒸気 |
| H | 319 | : 強い眼刺激 |
| H | 340 | : 遺伝性疾患のおそれ |
| H | 360 | : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ |
| H | 335+336 | : 呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ |
| H | 372 | : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 |

注意書き

【安全対策】

| | | |
|---|---|---|
| P | 201 | : 使用前に取扱説明書を入手すること。 |
| P | 202 | : 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 |
| P | 210 | : 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 |

P 233 : 容器を密閉しておくこと。
P 240 : 容器を接地すること／アースをとること。
P 243 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P 241 : 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P 242 : 火花を発生させない工具を使用すること。
P 261 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P 271 : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P 270 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P 264 : 取扱い後は手など、よく洗うこと。
P 280 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【救急処置】
P 304+340 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P 312 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P 301+314 : 飲み込んだ場合：無理に吐かせず、口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
P 305+351+338 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P 337+313 : 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
P 303+361+353 : 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、流水/シャワーで洗うこと。
P 308+313 : 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
P 378 : 適切な消火方法をとること。

【保管】
P : 子供の手の届かないところに保管すること。
P 403+235 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P 233 : 容器を密閉しておくこと。
P 405 : 施錠して保管すること。
P : 水系の製品は凍結しないところに置くこと。

【廃棄】
P 501 : 中身を使い切ってから、自治体の指導に従って捨てること。

---

## 3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量(wt%)

| 物質名 | 化学式又は構造式 | CAS №. | 含有量(wt%) |
|---|---|---|---|
| エタノール | $CH_3CH_2OH$ | 64-17-5 | 25 ～ 30 |
| トリエタノールアミン | $N(CH_2CH_2OH)_3$ | 102-71-6 | ～ 1 |
| 界面活性剤 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| 水 | $H_2O$ | 7732-18-5 | 65 ～ |

---

## 4 応急措置

吸入した場合
: 吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
: 気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
: 眼気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。
: 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
: 呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

：吸入の影響が遅れて現れることがある。
：上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

：毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着した場合は、下記のような処置を行う。
：ただちに水で洗い流し、石鹸で液が付着したところをよく洗うこと。
：衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹸でよく洗うこと。

目に入った場合

：清浄な水で最低15分間眼を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
：コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
：眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
：激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

：直ちに水で口の中を洗浄する。
：直ちに医師の診断を受けること。
：無理に吐かせないこと。
：子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。
：必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

---

## 5 火災時の措置

消火剤

：粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

特有の消火方法

：消火作業は、可能な限り風上から行う。
：関係者以外は安全な場所に退去させる。
：周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
：火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
：周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
：消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

：消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
：消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
：漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
：漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
：作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
：風上から作業し、風下の人を退避させる。
：着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
：こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

環境に対する注意事項

：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

：回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

：少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス・雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

：大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

：付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

：すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

：熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。

：容器を接地(アース)をすること。

：静電気放電に対する予防措置を講ずること。

：火花を発生しない工具を使用すること。

：防爆型の電気機器(換気装置、照明機器等)を使用すること。

：漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

：粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

：取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。

：取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。

：取扱いの都度、容器を密閉する。

保管

適切な保管条件

：製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。

：容器を密栓すること。

：涼しい所、換気の良い場所で保管すること。

：施錠して保管すること。

：熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。

安全な容器包装材料

：特になし。

---

## 8 暴露防止及び保護措置

設備対策

：蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

：屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

：屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

管理濃度

| 物質名 | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 | 許容濃度(ACGIH) |
|---|---|---|---|
| エタノール | | | 1000ppm |
| トリエタノールアミン | | | 5ppm |

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

保護具

呼吸器用の保護具

：保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用すること。

手の保護具

：保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。

目の保護具

：保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

：必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

---

## 9 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 形状 | ： | 液体 |
| 色 | ： | 淡褐色～淡黄色　透明 |
| 臭い | ： | 特異臭 |
| pH | ： | 7.5±0.5 |
| 融点(℃) | ： | データなし |
| 沸点・初留点及び沸騰範囲(℃) | ： | 84～100℃ |
| 引火点(℃) | ： | 約28℃(類推値) |
| 燃焼又は爆発範囲 | | |
| 下限 | ： | 3.3%(エタノール) |
| 上限 | ： | 19%(エタノール) |
| 蒸気圧(KPa) | ： | データなし |
| 蒸気密度 | ： | データなし |
| 比重(相対密度) | ： | 0.96±0.01 |
| 溶解度 | ： | 水に可溶 |
| n－オクタノール/水分配係数 | ： | データなし |
| 自然発火温度 | ： | データなし |
| 分解温度 | ： | データなし |

---

## 10 安定性及び反応性

反応性

：特に危険な反応性は知られていない。

化学的安定性

：通常の取り扱いにおいては、安定である。

危険有害反応可能性

：強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。

避けるべき条件

：加熱・熱源・裸火を避ける。

：強酸化剤との接触を避ける。

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

混触危険物質

: 強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと。)

危険有害な分解生成物

: データなし。

---

11 有害性情報　　化学物質としての情報

急性毒性

(経口)

: ラットのLD50値、6200-15000mg/kg bw(DFGOT Vol.12 (1999))、13.7g(13700mg)/kg、17.8g(17800mg)/kg、11.5g(11500mg)/kg(Patty (5th, 2005))、9.8 - 11.6 ml/kg bw(7938 - 9396 mg/kg)、15010 mg/kg bw、7000 - 11000 mg/kg bw、14.6 ml/kg bw(11826 mg/kg)、7800 mg/kg bw、11500 mg/kg bw、11170 - 16710 mg/kg bw、7060 mg/kg bw、8300 mg/kg bw(SIDS(J) (2009))

【エタノール】 区分外

: ラットLD50値: 8,680 mg/kg、9,110 mg/kg(ACGIH(7th, 2001)、PATTY(6th, 2012))、8,000 mg/kg (PATTY(6th, 2012))、8,000 - 9,000 mg/kg及び4,200-11,300 mg/kg(NTP TR 518(2004)、SIDS (2001))

【トリエタノールアミン】 区分外

(経皮)

: LDLo=20,000mg/kg bw(ウサギ　SIDS(2009))

【エタノール】 区分外

: ウサギの経皮LD50値> 2,000 mg/kg(SIDS(2001))及びウサギの皮膚に2 g/kgを24時間経皮適用した試験で死亡が認められていない(NTP TR 518(2004))

【トリエタノールアミン】 区分外

(吸入:ガス)

: データなし

(吸入:蒸気)

: 3,837ppmV(SIDS(2009))、63,000ppmV(4h)(DFGOT Vol.12 (1999))、20,661ppmV(4h)、66,181ppmV(4h)、22,627ppmV(4h)(SIDS(2009)

【エタノール】 区分外

(吸入:粉塵、ミスト)

: データなし

皮膚腐食性・刺激性

: ウサギに4時間ばく露した試験(OECD TG 404)において、適用1および24時間後の紅斑の平均スコアが1.0、その他の時点では紅斑および浮腫の平均スコアは全て0.0であり、刺激性なし(not irritating)の評価(SIDS(2009))

【エタノール】 区分外

: ACGIH(7th, 2001)、SIDS(2001)、IARC 77(2000)、及びNTP TR 518(2004)の「ヒトで高濃度ばく露又は反復ばく露により皮膚刺激性が認められた」との記述

【トリエタノールアミン】 区分2

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: ウサギを用いたDraize試験（OECD TG405）において中等度の刺激性（moderate irritating）と評価され（SIDS(2009)、DFGOT Vol.12 (1999)）、適用後1～3日目に角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤、結膜浮腫が認められ、MMAS (Modified Maximum Average Score：AOIに相当) が24.0〔ECETOCTR48 (1998)〕、かつ7日以内に症状がほぼ回復している（ECETOC TR No.48(2)(1998)）

【エタノール】 区分2B

: ACGIH（7th, 2001）、PATTY（6th, 2012）、及びNTP TR 518（2004）の「ウサギを用いた眼刺激性試験で刺激性が認められ、14日後に完全に回復した」との記述

【トリエタノールアミン】 区分2A

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

: データなし

皮膚感作性

: ACGIH（7th, 2001）、IARC 77（2000）、及びNTP TR 518（2004）の「ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告がある」との記述

【トリエタノールアミン】 区分1

生殖細胞変異原性

: マウスおよびラットを用いた経口投与（マウスの場合はさらに腹腔内投与）による優性致死試験（生殖細胞in vivo 経世代変異原性試験）において陽性結果（SIDS (2009)、IARC (1988)）に基づき区分1Bとした。なお、in vitro 変異原性試験として、エームス試験はすべて陰性であり（DFGOT Vol.12 (1999)、SIDS(2009)、NTP DB (2009)）、染色体異常試験でもCHO細胞を用いた試験1件の陽性結果を除き他はすべて陰性であった（SIDS(2009)）。

【エタノール】 区分1B

: In vivoでは、マウスの末梢血を用いる小核試験で陰性の結果がある（IARC 77（2000）、NTP TR 518（2004）、NTP DB（Access on June 2013））。さらに、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である（SIDS（2001）、IARC 77（2000）、ACGIH（7th, 2001）、NTP DB（Access on June 2013））

【トリエタノールアミン】 分類できない

発がん性

: データなし

生殖毒性

: エタノールに関する疫学情報は多く、これまでの前向き研究あるいはケース・コントロール研究の結果から、一定量以上の飲酒が流産の発生あるいは発生のリスクを有意に増加させることが報告されている（IARC vol.44(1987)）。また、妊婦の習慣的な飲酒が胎児に発育抑制、小頭症、特徴的顔貌、精神障害などを起こす胎児性アルコール症候群が複数の報告で認められる（IARC vol.44(1987)、SIDS (2009)、DFGOT Vol.12 (1999)）。その他に出生前のエタノール摂取による異常として、口蓋裂、手掌線の異常、心房心室中隔欠損、耳管欠損などが見られ、妊婦がエタノールを大量摂取した場合に催奇形性と胎児毒性が強く示唆されるとの記述もある（SIDS (2009)）。以上の疫学報告および疫学研究の結果は、ヒトに対するエタノールの生殖毒性を示す確かな証拠と考えられるので区分1Aとした。なお、動物試験では、ラットおよびマウスに経口投与による一世代試験では悪影響がなく（SIDS (2009)）、マウスの二世代試験で同腹生存仔数の減少が見られ（SIDS (2009)）、また、ラットの妊娠期間中の経口投与による一部の試験で多指症、多合指症などの奇形が報告されている（IARC vol.44(1987)）。

【エタノール】 区分1A

: IARC 77（2000）のラット及びマウスを用いた2,000 mg/kg以上の用量で13週間経皮投与した試験で精子検査及び雌の性周期に影響が認められなかったとの記述、NTP TR 518（2004）の妊娠中マウスに

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

1,125 mg/kgを経口投与した試験で胎児/出生児に影響が認められなかったとの記述、並びにIARC 77（2000）のラットに500 mg/kg、マウスに2,000 mg/kgを交配前から授乳期間終了まで経皮投与した試験で繁殖能及び児動物の成長に影響が認められなかったとの記述

【トリエタノールアミン】 区分外

特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露

: ヒトに吸入ばく露した試験で、昏迷、傾眠、軽度の麻痺が観察されている（ACGIH (2001)）。また、エタノール摂取による急性の毒性影響は中枢神経系の障害であると記載され（DFGOT Vol.12 (1999)）、重度の中毒では筋失調、霧視、複視、昏迷、低体温、嘔気、嘔吐、痙攣など、大量摂取した場合には昏睡、反射低下、呼吸抑制、低血圧が見られ、さらに呼吸または循環器不全により、あるいは咽頭反射が欠如した場合には胃内容物吸引の結果として死に至ると記述されている（Patty (5th, 2001)）。

上記のヒトでの昏迷、傾眠などの症状に加え、ラット、マウスおよびモルモットに吸入ばく露した試験における麻酔、傾眠、運動失調などの症状の記載（SIDS(2009)、DFGOT Vol.12 (1999)）に基づき区分3（麻酔作用）とした。一方、ヒトに試験物質蒸気の吸入ばく露は低濃度でも眼と上気道に刺激性があるとの記述（ACGIH (2001)）、ヒトに吸入ばく露した試験で、咳および眼と鼻腔に疼きを感じたとの報告（Patty (5th, 2001)）、さらに非耐性の被験者の吸入ばく露試験では鼻刺激感が報告されている（Patty (5th, 2001)）ことから区分3（気道刺激性）とした。

【エタノール】 区分3（気道刺激性、麻酔作用）

: INTP TR 518（2004）のヒトへの影響として蒸気が鼻を刺激するとの記述

【トリエタノールアミン】 3（気道刺激性）

特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露

: ヒトでアルコールの長期大量摂取はほとんど全ての器官に悪影響を及ぼすが、最も強い影響を与える標的器官は肝臓であり、障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化の段階を経て肝硬変に進行する（DFGOT (1996)）との記載に基づき区分1（肝臓）とした。また、アルコール摂取により重度の身体的依存症となった患者は、振戦、痙攣、譫妄の禁断症状に加え、しばしば嘔気、脱力、不安、発汗を伴い、アルコールを得るための意図的行動、および反射亢進が顕著となると述べられている（HSDB、(2003)）ことから、区分2（中枢神経系）とした。なお、動物試験では有害影響の発現はさほど顕著ではなく、ラットあるいはマウスの90日間反復経口ばく露試験の場合、ガイダンス値範囲をかなり上回る高用量で肝臓への影響として脂肪変性が報告されている（SIDS(2009)）。

【エタノール】 区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）

: IARC（2000）、ACGIH（7th, 2001）、PATTY（6th, 2012）に記載された経皮（マウス: 13週間及び2年間）、経口（ラット、マウス、モルモット: 12-13週間及び2年間）又は吸入（ラット、マウス: 16日間）ばく露試験において、いずれの試験も区分2のガイダンス値範囲の投与量を上回る用量（経皮（200-2,000 mg/kg/day）、経口（200-3,000 mg/kg/day）、吸入（0.36 mg/L/6 hr））までばく露しても、重大な毒性影響が認められなかったとの記述

【トリエタノールアミン】 区分外

吸引性呼吸器有害性

: データなし

---

## 12 環境影響情報

生態毒性

: データなし

残留性・分解性

: データなし

生体蓄積性

: データなし

土壌中の蓄積性

: データなし

水生環境有害性(急性)

: 魚類(ファットヘッドミノー)での96時間LC50 > 100mg/L(SIDS, 2005)、甲殻類 (ネコゼミジンコ) での48時間LC50 = 5012mg/L(SIDS, 2005)、藻類(クロレラ)での96時間EC50 = 1000mg/L(SIDS, 2005)

【エタノール】 区分外

: 藻類(Scenedesmus subspicatus)96時間EC50＝169 mg/L、甲殻類(オオミジンコ)24時間EC50＝1386 mg/L、魚類(ファットヘッドミノー)96時間LC50 = 11800 mg/L(いずれもSIDS, 2001)

【トリエタノールアミン】 区分外

水生環境長期間有害性

: 急性毒性区分外であり、難水溶性ではない(水溶解度=1000000mg/L(PHYSPROP Database、2009))

【エタノール】 区分外

: 慢性毒性データを用いた場合、急速分解性でない(BODによる分解度:0%(既存点検, 1978))が、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC = 16 mg/L(SIDS, 2001)であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、藻類、甲殻類、魚類ともに急性毒性が区分外相当であり、難水溶性ではない(Miscible in water、HSDB, 2013)ことから

【トリエタノールアミン】 区分外

オゾン層への有害性

:

---

## 13 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法

: 廃棄する際は、地域のごみ処理方法に従って廃棄する。

汚染容器・包装の廃棄方法

: 廃棄する際は、地域のごみ処理方法に従って廃棄する。

---

## 14 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送

: 船舶安全法等に定められている運送方法に従う。

航空輸送

: 航空法等に定められている運送方法に従う。

国際規制

国連番号

: 引火性液体 1993

| 整理番号 | | 製品名 | MEGA／CLEAR |
|---|---|---|---|
| 作成改訂日 | 2015年6月26日 | 会社名 | トラスコ中山株式会社 |

国連分類

：引火性液体　毒性なし　クラス3

法57条の2(名称等を通知すべき有害物)

：　政令第１８条の２別表第９の61
【エタノール】

：　政令第１８条の２別表第９の381
【トリエタノールアミン】

【 化学物質管理促進法 (PRTR法) 】

：　該当しない。

【 毒物及び劇物取締法 】

：　該当しない。

【 消防法 】

：　非危険物(アルコールの除外措置に該当)

【 高圧ガス保安法 】

：　該当しない。

---

16 その他の情報

化学品の推奨取扱い方法

：使用前に軽く振り、メガネレンズの両面に数回スプレーする。きれいな布等で塗りのばす。30秒ほど乾燥させた後、別の布等で強くこすらずに軽く拭きあげる。

製造会社名　　：株式会社ソフト99コーポレーション

参考文献

JIS Z 7253(2012)
NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ
中央労働災害防止協会ホームページ
その他の文献･･･原材料／製品メーカーMSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。